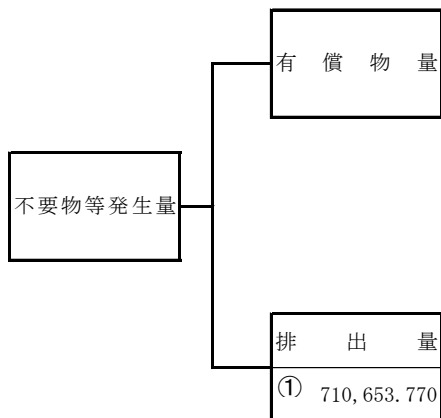


産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
平成 3 0 年 6 月 2 8 日			
愛 知 県 知 事 殿		愛知県名古屋市東区東新町1番地 中部電力株式会社 代表取締役社長 勝野 哲 社長執行役員	
届出者		住 所 代理人 愛知県碧南市港南町二丁目8番2 氏 名 中部電力株式会社 発電カンパニー 碧南火力発電所長 安井 稔	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 0 5 6 6 - 4 8 - 8 5 6 1			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、平成 2 9 年度の産業廃棄物 処理計画の実施状況を報告します。			
事 業 場 の 名 称	中部電力株式会社 発電カンパニー 碧南火力発電所		
事 業 場 の 所 在 地	愛知県碧南市港南町二丁目 8 番 2		
事 業 の 種 類	3 3 : 電気業		
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間	平成 2 9 年 4 月 1 日～平成 3 0 年 3 月 3 1 日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	1, 123, 164 t	全 処 理 委 託 量	966, 960 t
自 ら 再 生 利 用 を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量	0 t	優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 処 理 委 託 量	64, 239 t
自 ら 熱 回 収 を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量	0 t	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	941, 351 t
自 ら 中 間 処 理 に よ り 減 量 す る 産 業 廃 棄 物 の 量	90, 247 t	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量	204 t
自 ら 埋 立 処 分 又 は 海 洋 投 入 処 分 を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量	73, 500 t	認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量	32 t
※事務処理欄			

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：ばいじん（フライアッシュ）)



項目	実績値
①排出量	710,653.770
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	47,004.050
⑩全処理委託量	663,649.720
⑪優良認定処理業者への処理委託量	25,493.670
⑫再生利用業者への処理委託量	663,649.720
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

自ら直接再生利用した量

② 0.000

自ら直接埋立処分した量

③ 47,004.050

自ら中間処理した量

④ 0.000

④のうち熱回収を行った量

⑤ 0.000

自ら中間処理した後の残さ量

⑥ 0.000

自ら中間処理により減量した量

⑦ 0.000

自ら中間処理した後再生利用した量

⑧ 0.000

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑨ 0.000

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑩ 663,649.720

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑪ 25,493.670

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫ 663,649.720

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

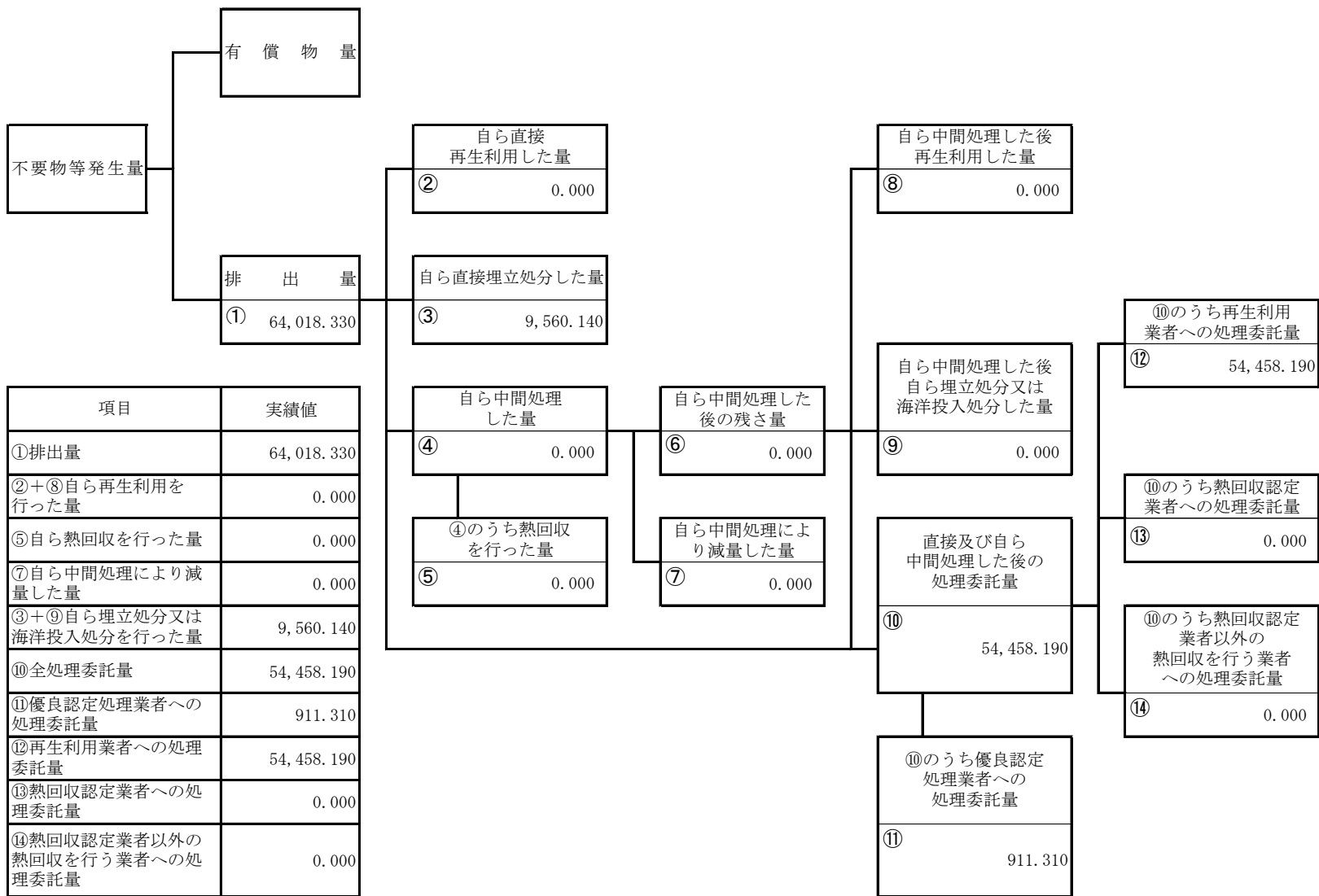
⑬ 0.000

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑭ 0.000

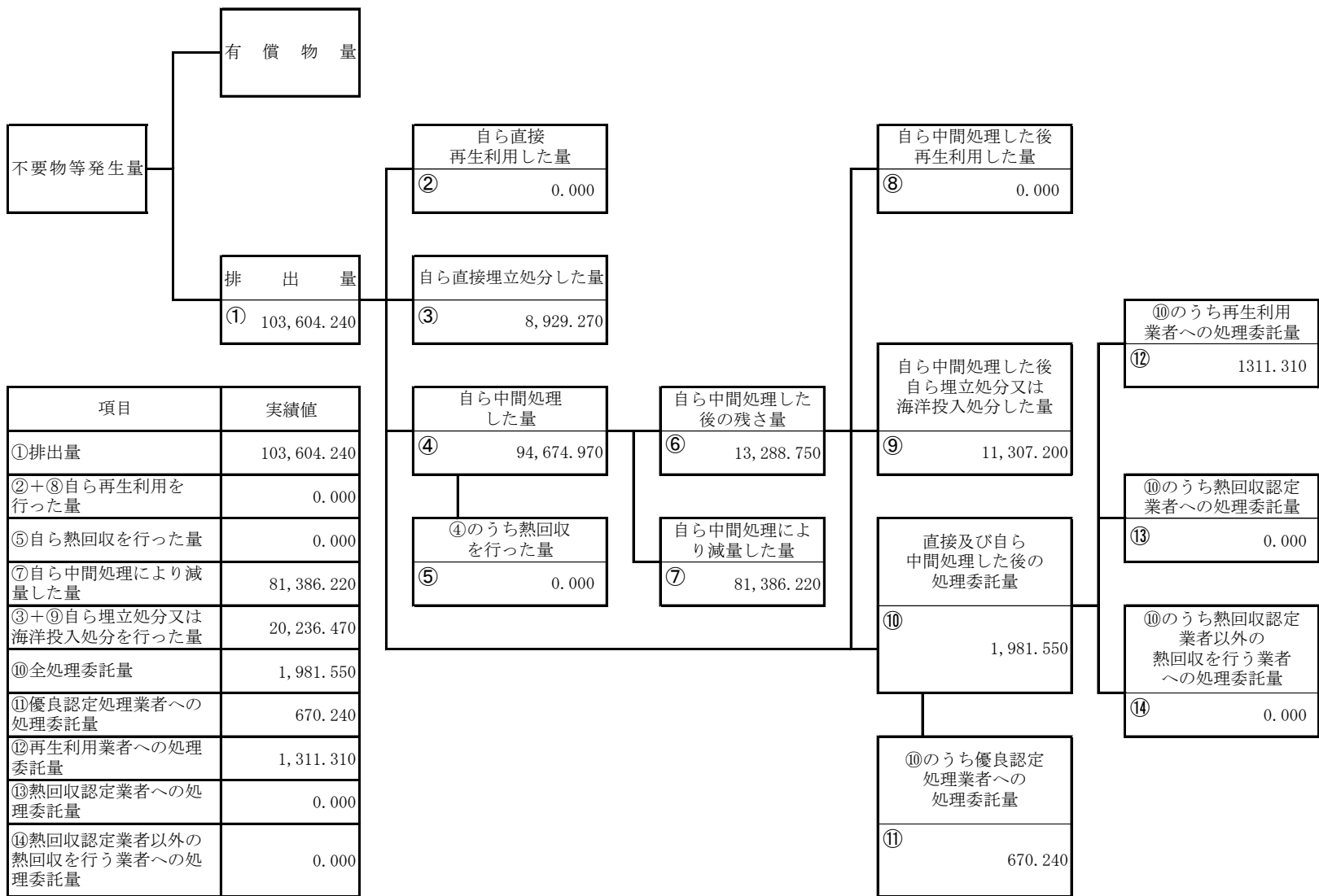
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：燃え殻（クリンカ）)



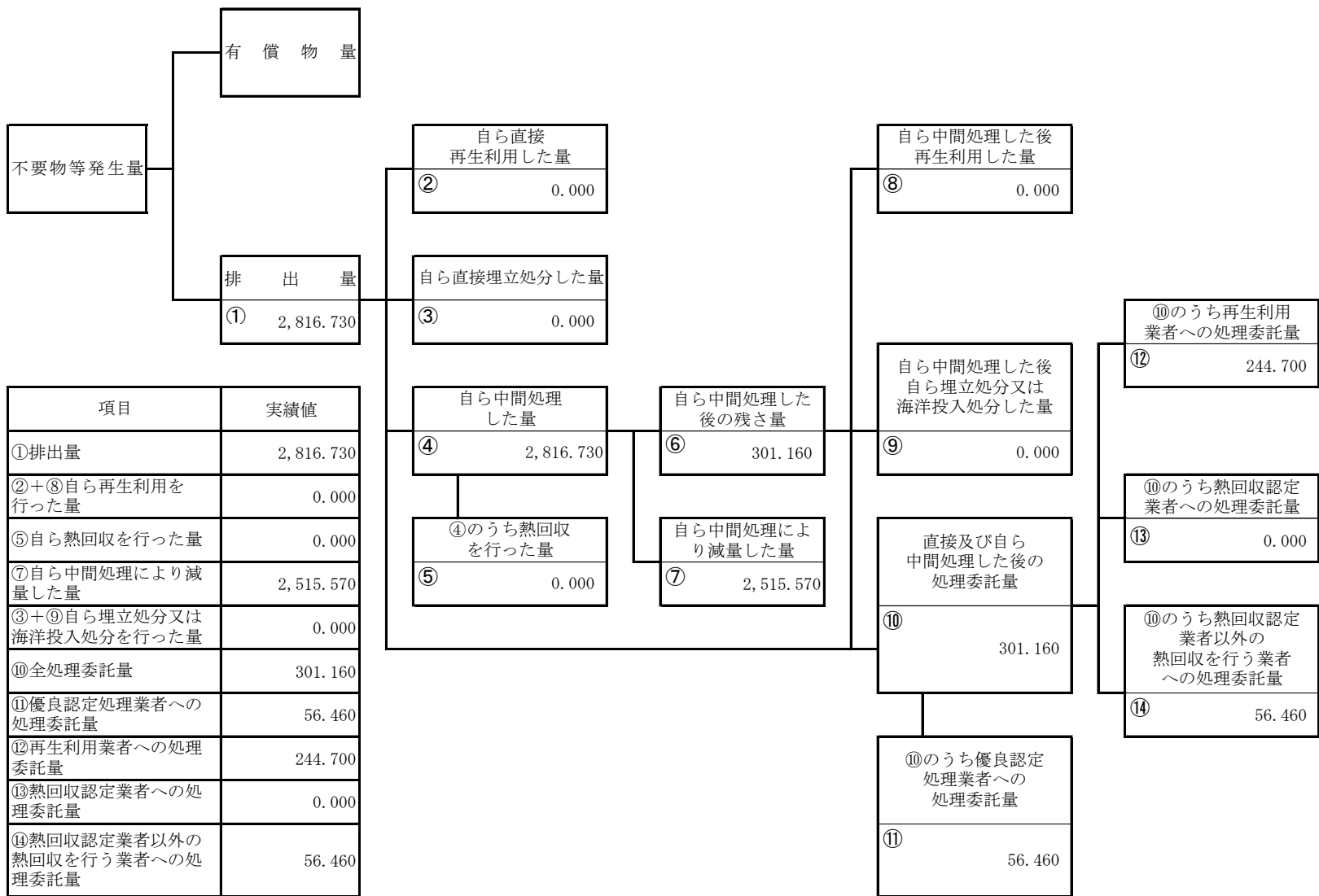
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：汚泥（排水処理無機性汚泥）)



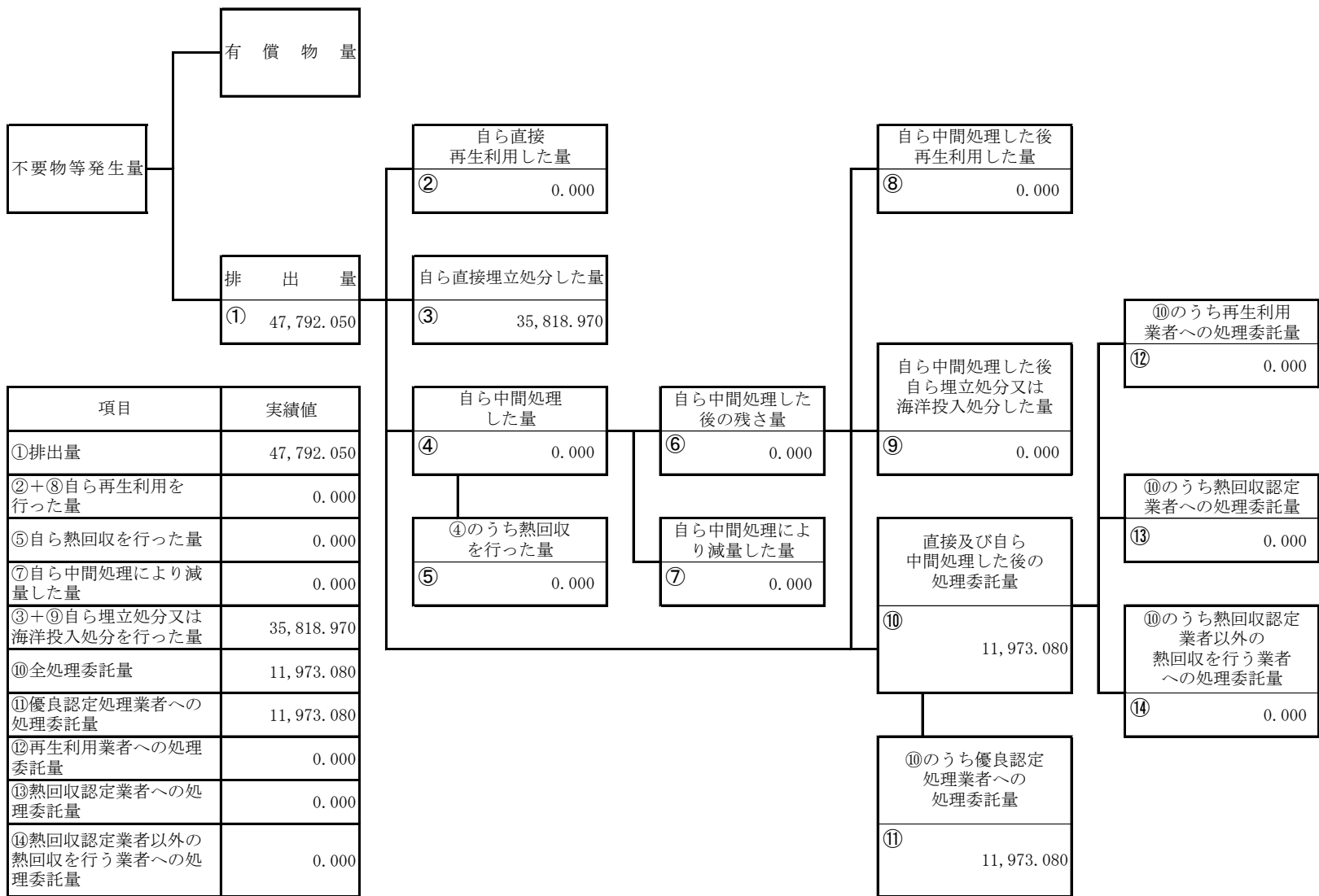
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：汚泥（排水処理有機性汚泥）)



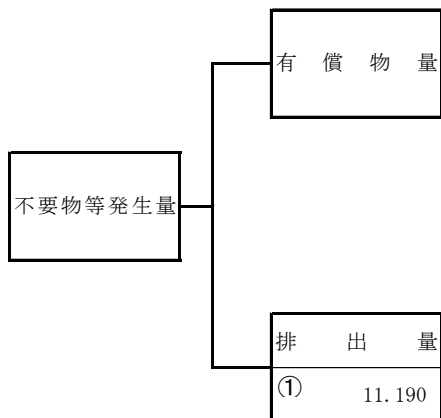
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：13号廃棄物(脱硫排水固化汚泥))



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：金属くず)



項目	実績値
①排出量	11.190
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	11.190
⑪優良認定処理業者への処理委託量	5.650
⑫再生利用業者への処理委託量	11.190
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

自ら直接再生利用した量

② 0.000

自ら直接埋立処分した量

③ 0.000

自ら中間処理した量

④ 0.000

④のうち熱回収を行った量

⑤ 0.000

自ら中間処理した後の残さ量

⑥ 0.000

自ら中間処理により減量した量

⑦ 0.000

自ら中間処理した後再生利用した量

⑧ 0.000

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑨ 0.000

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑩ 11.190

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑪ 5.650

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫ 11.190

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

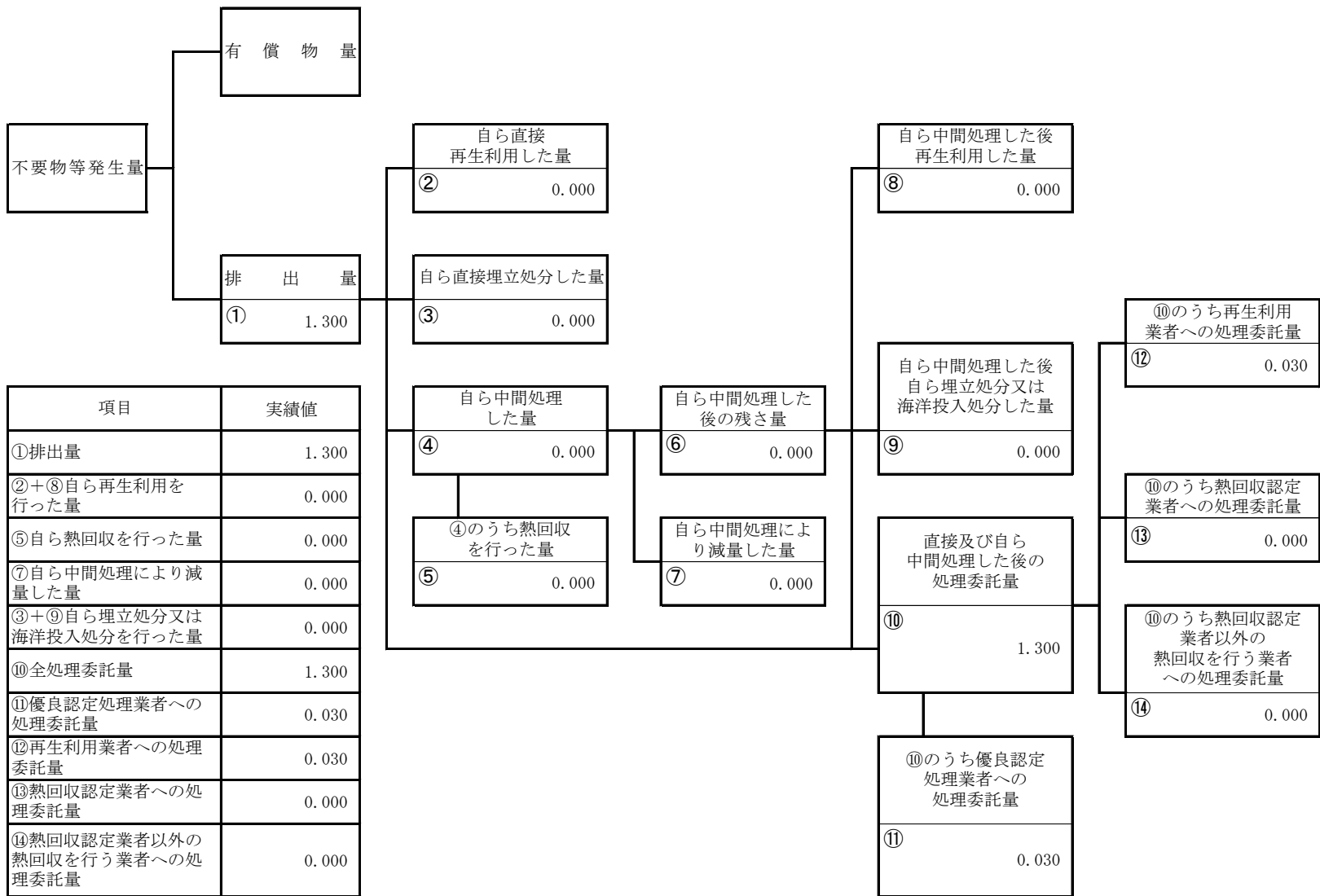
⑬ 0.000

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑭ 0.000

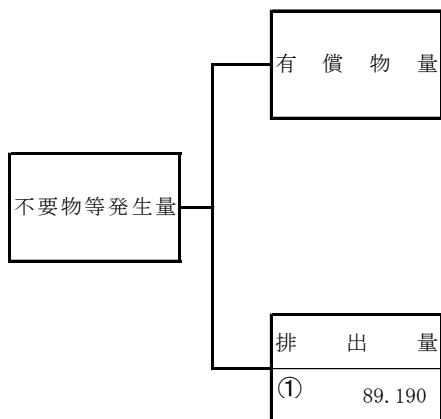
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：ガラスくず・陶磁器くず)

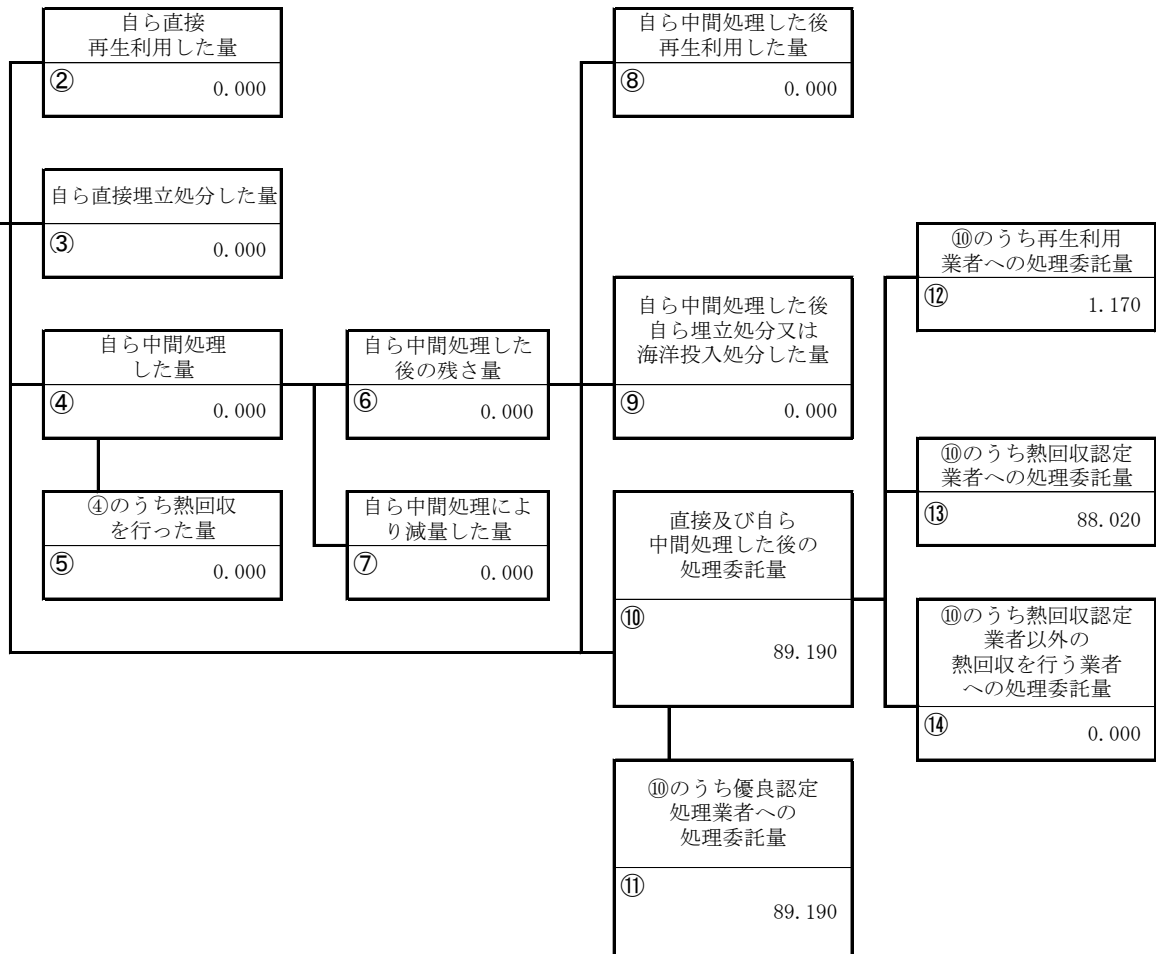


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃油)

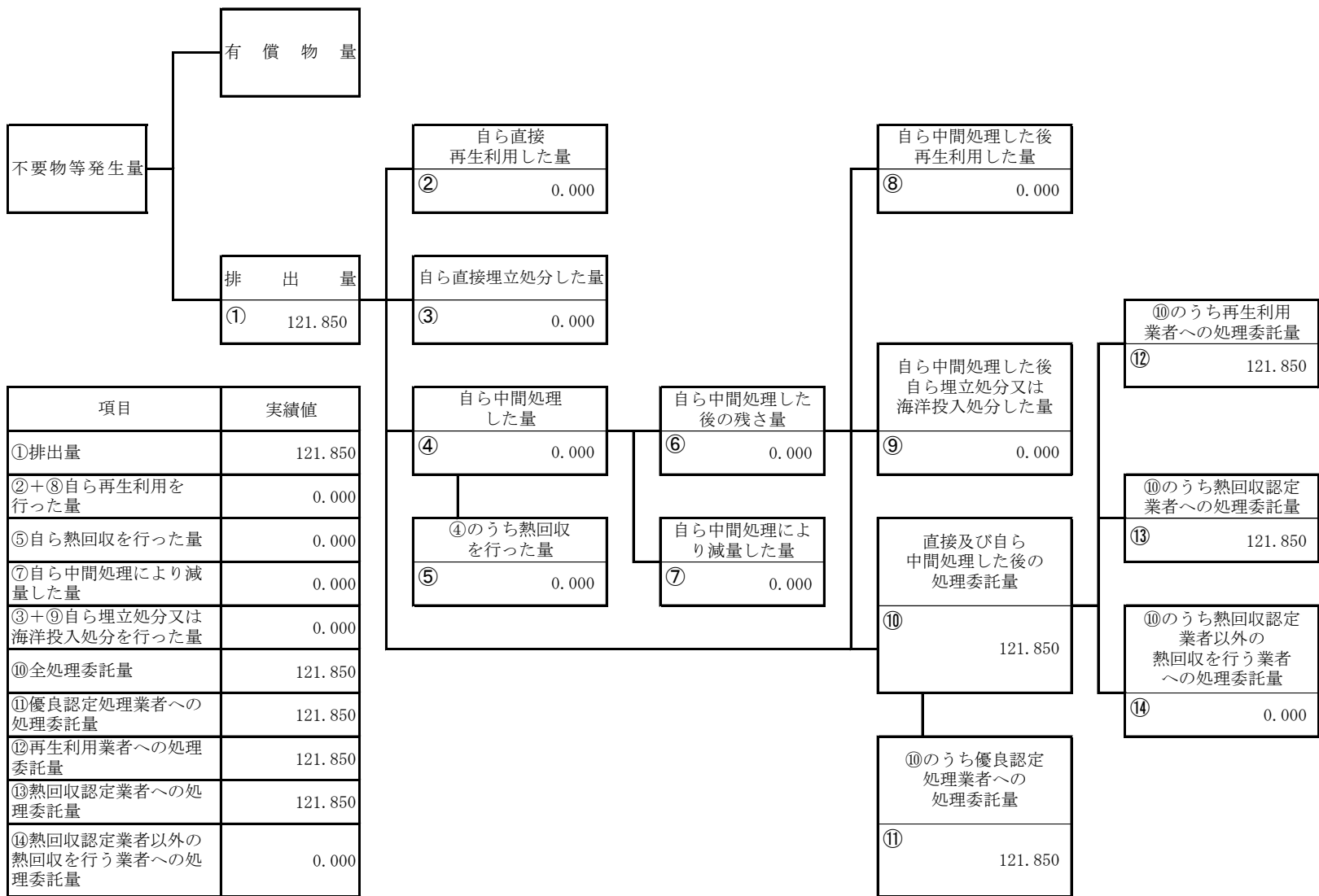


項目	実績値
①排出量	89.190
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	89.190
⑪優良認定処理業者への処理委託量	89.190
⑫再生利用業者への処理委託量	1.170
⑬熱回収認定業者への処理委託量	88.020
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000



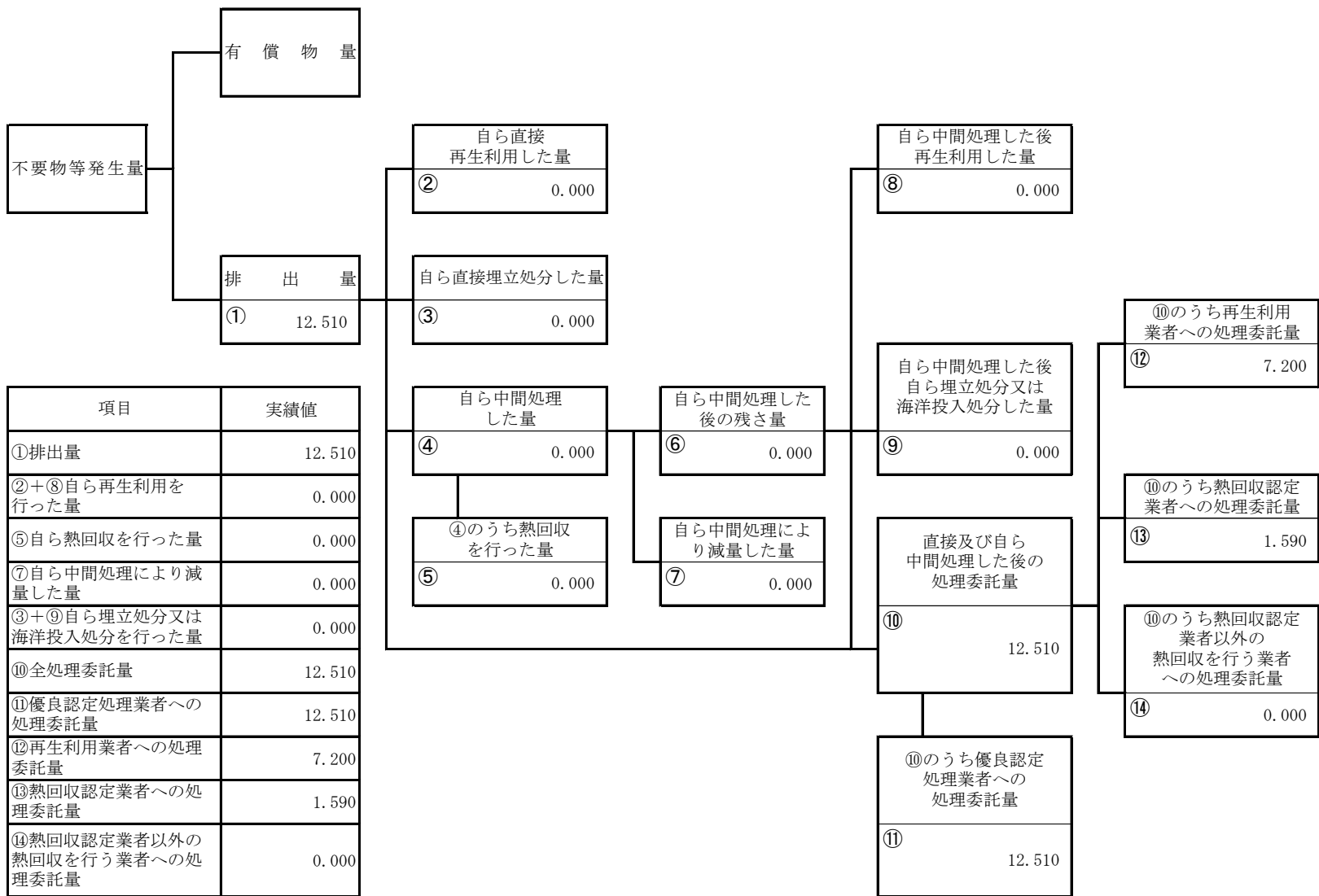
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：汚泥（魚貝類）)



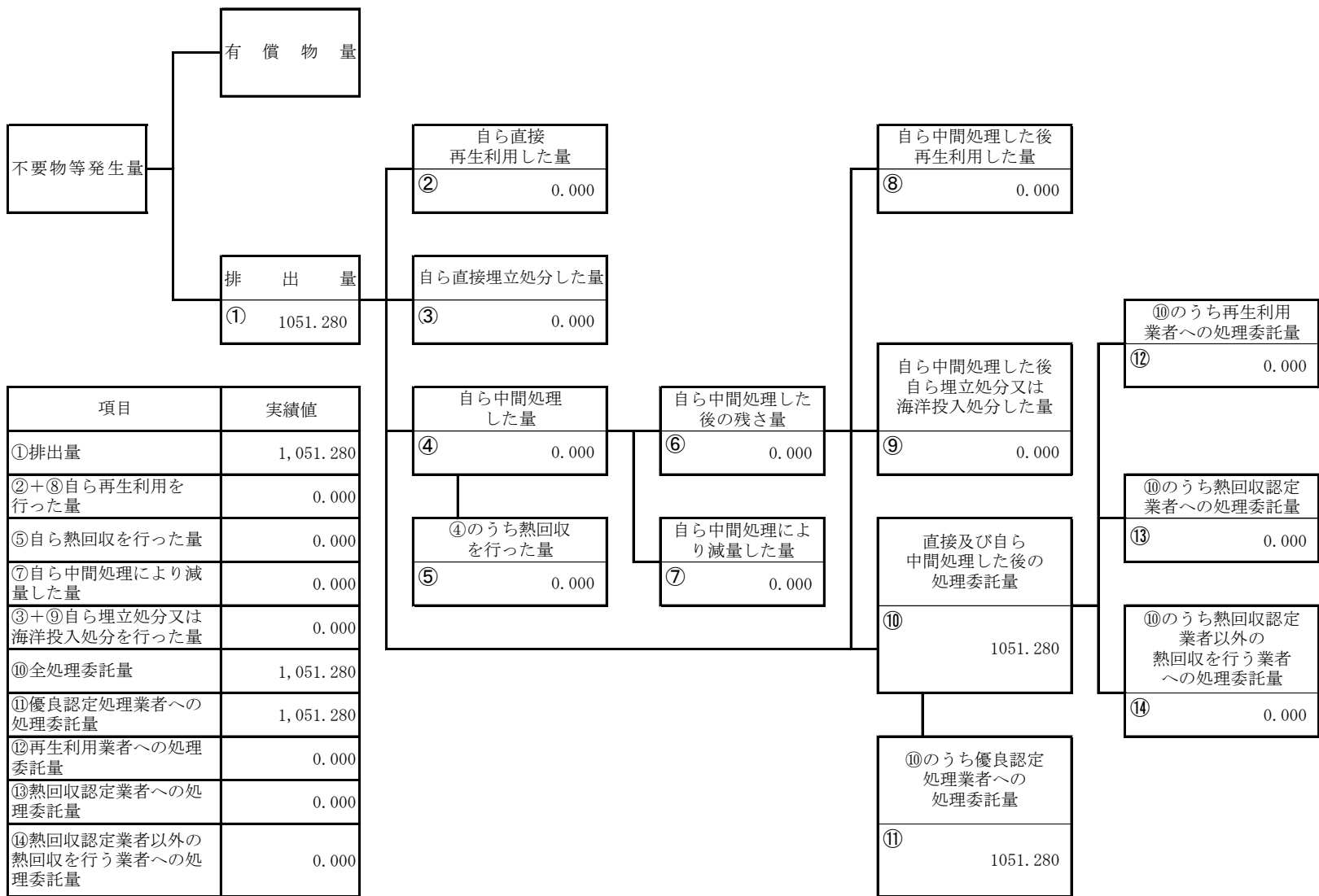
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃プラスチック)



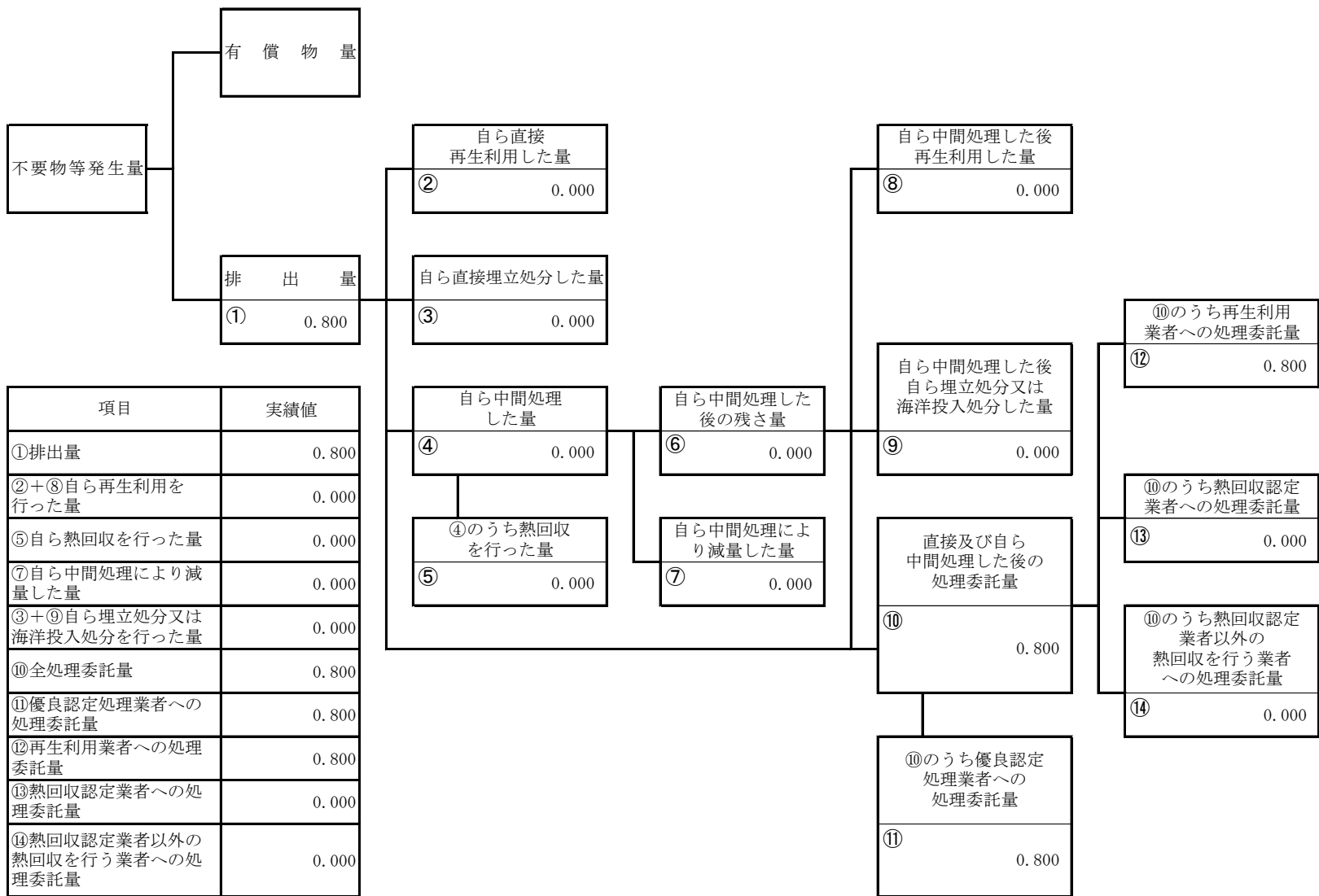
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：汚泥（培養土）)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：木くず)



(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。